

熊本城 天守閣

施設概要

施設概要

■建築概要

建築面積	1105.36㎡
延床面積	2925.28㎡
各階床面積	B1:426.07㎡、1F:1189.1㎡、2F:551.66㎡、3F:347.12㎡、 4F:238.78㎡、5F:81.28㎡、6F:91.27㎡

地域地区	都市計画区域 都市計画公園 第2種住居地域 22条区域
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄筋コンクリート造、鉄骨造
階数	地上6階、地下1階
高さ	大天守:石垣の天端から31.2m(一番上は鯨の天端) 小天守:石垣の天端から20m(一番上は鯨の天端)

■設備概要

電気設備	受変電方式 数寄屋丸電気室にて既存高圧分岐 1回線6.6kV引込
	配電方式 1φ3W210-105V、3φ3W210V
	変圧器容量 400KVA
	その他 照明設備、トイレ呼び出し、トイレ音声案内装置設備、 ITVカメラ設備、入退室設備、情報表示設備、映像音響設備 他

空調調和設備	空調方式 電気式空冷ヒートポンプエアコン
	換気方式 居室:オールフレッシュ型ヒートポンプエアコン、全熱交換器 便所・倉庫:排気ファンによる第3種換気

給排水衛生設備	給水方式 直結増圧給水方式
	消火設備 パッケージ型消火器、消火器

昇降機設備	乗用500kg(7人)車いす対応 乗用600kg(9人)車いす対応
-------	--

バリアフリー設備	スロープ、昇降機、触知図、音声案内、多言語音声ガイド(アプリ)、触知模型 多目的トイレ、点字ブロック、フラッシュランプ
----------	--

展示リニューアルの考え方

■基本コンセプト

- 1 | 城全体ではなく天守に焦点を置く
- 2 | 加藤時代～近現代を中心に展開

■基本方針

- 1 | 熊本城天守の位置づけを明確にして
周辺施設の展示内容と連携・補完を図る
- 2 | 天守閣内は保存環境に制約が多いため
基本的に実物資料の展示を行わない
- 3 | 従来はなかった西南戦争以降の
熊本城天守の歴史展示を追加する

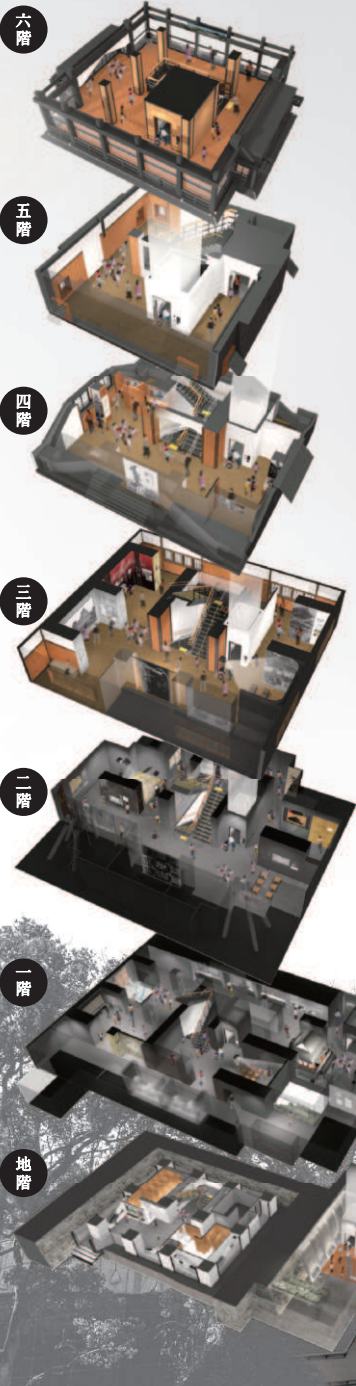
■展示面積

(熊本城天守閣展示改修業務に基づく)
合計 | 1386.2㎡

■展示設計・施工体制

展示設計 | 平成29年～平成30年
(株)大林組
展示施工 | 平成31年～令和3年
乃村・丹青特定業務委託共同企業体

発行 | 2021年4月



地階

穴蔵



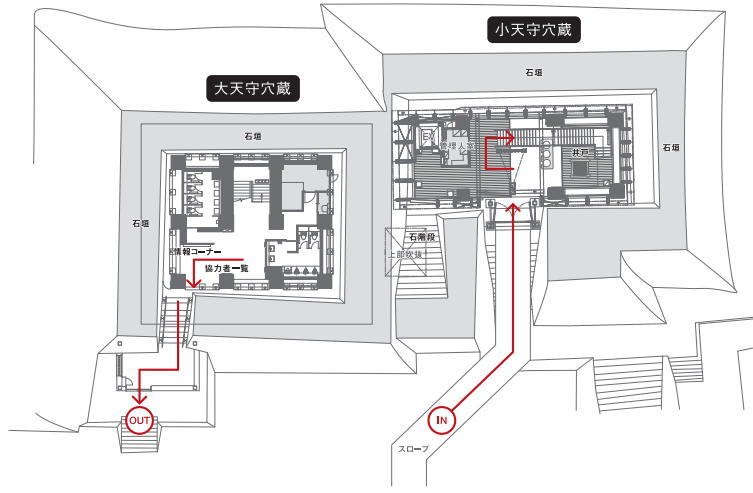
小天守入口と大型スクリーン映像

一階

加藤時代

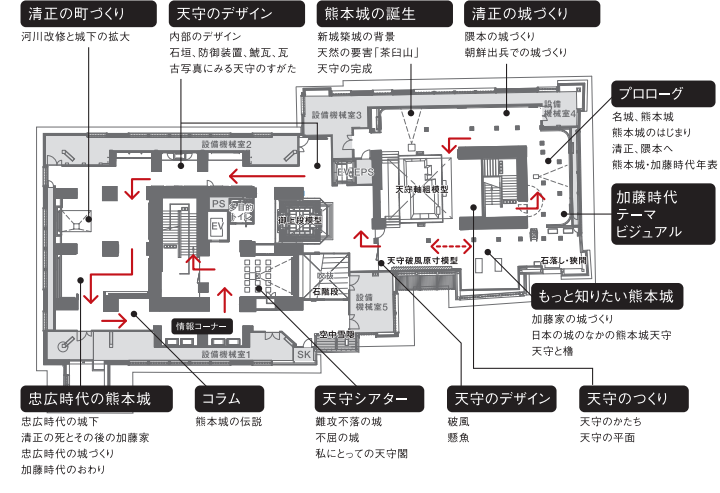


天守軸組模型と詳細解説端末



天守閣の入口である小天守地階では、大型スクリーンで来城者を迎える。石垣や井戸、石階段などの実物を見ることが出来るほか、江戸時代の絵図に基づいた平面表示があり、この場所が穴蔵として使われていたことを感じられる空間としている。

展示面積 | 102.7㎡



加藤清正・忠広の2代にわたる城づくりの歴史を紹介。さらに、江戸時代の天守のつくりやデザインについて、大型の模型を用いて解説。タッチパネル式の情報コンテンツやプロジェクションマッピング、シアターなどの映像も楽しめる。

展示面積 | 692.8㎡



小天守穴蔵全景



井戸と耐震補強



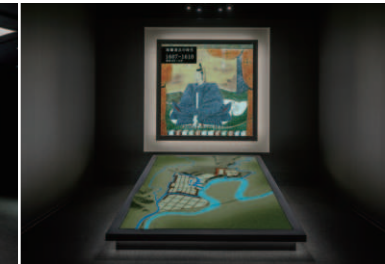
石階段



加藤時代テーマビジュアル



御上段模型



「河川改修と町づくり」プロジェクション映像

二階

細川時代



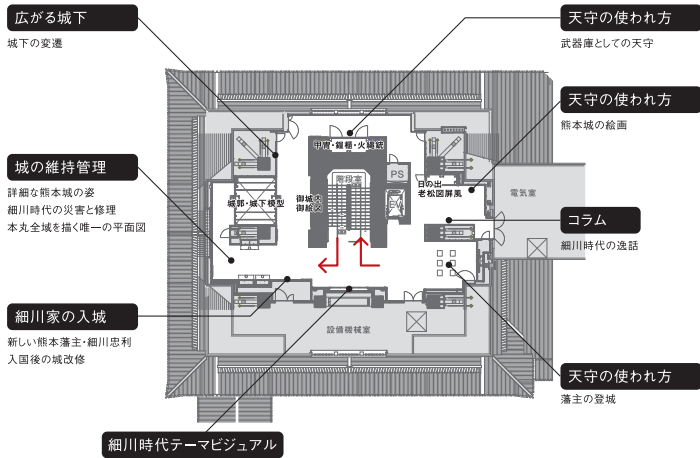
「武器庫としての天守」展示ケース

三階

近代

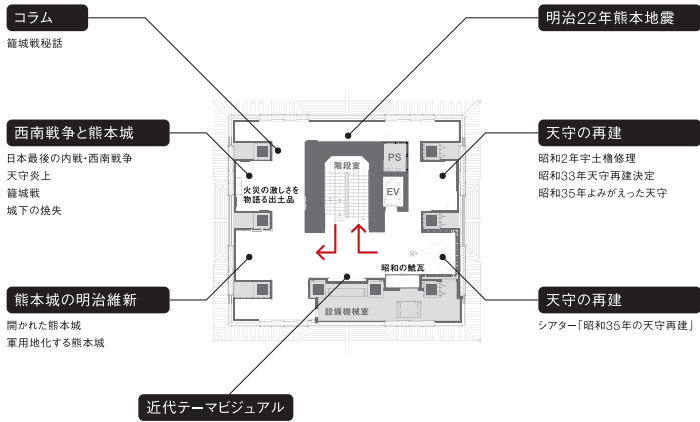


「西南戦争と熊本城」展示コーナー



細川家入国後の城の改修や維持・管理の歴史を紹介。加藤時代からさらに拡大した城下について、模型やプロジェクションマッピングでわかりやすく解説している。さらに、江戸時代に天守がどのように使われていたのか、武器庫や登城などのテーマで紹介。

展示面積 | 200.1㎡



明治維新後の熊本城の歴史を紹介。西南戦争による天守の焼失や、市民の念願が実現した昭和35年の天守再建について、当時の映像・写真・関係者のインタビューなどから振り返る。

展示面積 | 200.9㎡



細川時代テーマビジュアル



城郭・城下模型へのプロジェクションマッピング



「熊本城の絵画」展示コーナー



近代テーマビジュアル



昭和の再建時の焼瓦



シアター「昭和35年の天守再建」

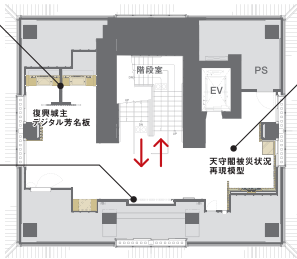


「よみがえる熊本城」展示コーナー



外光と白木で明るく居心地の良い展望フロア

復興城主デジタル芳名板



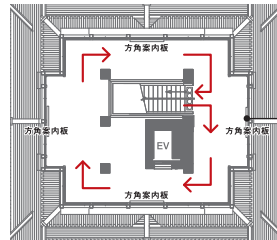
よみがえる熊本城

修理と復元
平成28年熊本地震
天守閣の復旧

現代テーマビジュアル

平成の修理や復元整備事業のほか、平成28年熊本地震による天守閣の被害と復旧の取り組みについてパネル・映像で紹介。被災直後を再現した模型も見ることができる。復興城主の名前を検索できるデジタル芳名板も設置している。

展示面積 | 75.3㎡



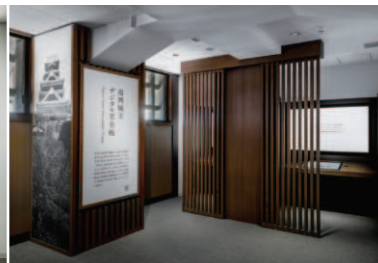
AR

県産材のヒノキと漆喰調の空間に一新しい最上階からは、市内を一望することができる。各方向に設置されているARマーカーを「熊本城公式アプリ」で読み取ると、現在の風景に明治時代初期の古写真を重ね、眺望を見比べることができる。

展示面積 | 71.4㎡



現代テーマビジュアル



復興城主デジタル芳名板コーナー



天守閣被災状況再現模型



唐破風内側の展望窓



中央は格式高い格天井



市内の展望